

2019年3月27日
六本木グランドタワー

東京財団政策研究所
フォーラム

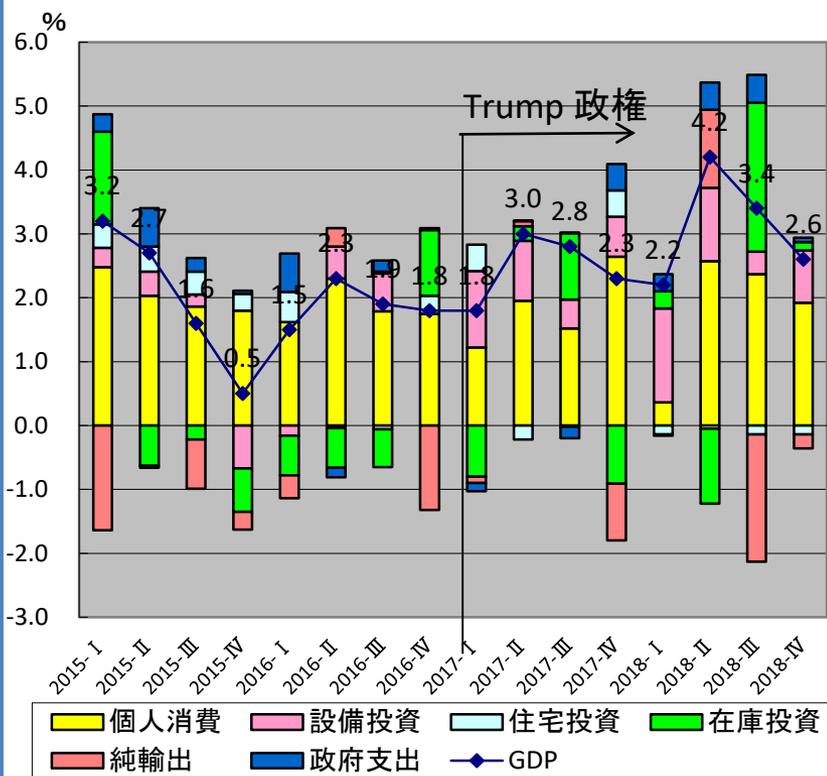
米中新冷戦時代の日本ファースト戦略

双日総合研究所
吉崎達彦

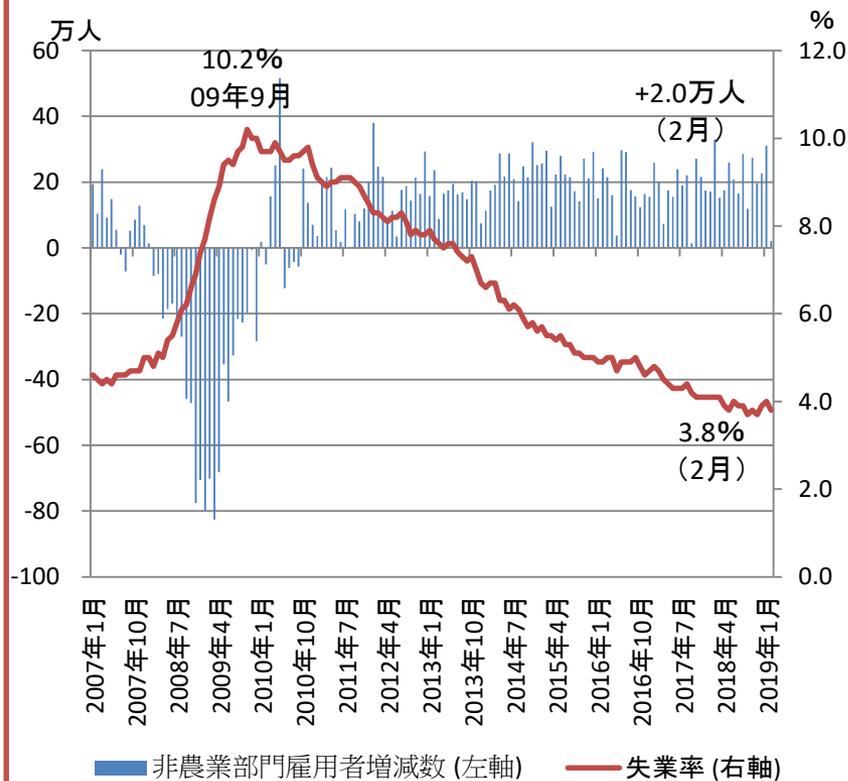
米国経済：順調な景気回復が続いたが...

「アニマル・スピリッツの時代」は終わりが近い

実質GDP：2018年は2.9%成長



雇用統計：ほぼ完全雇用

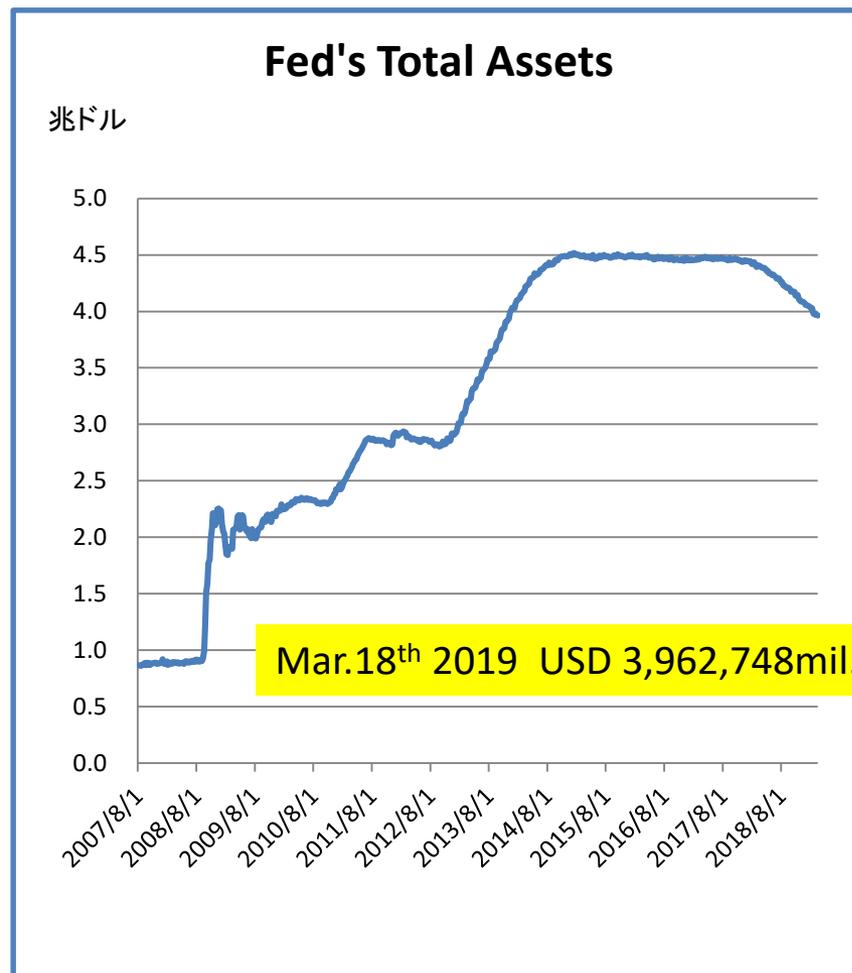


FOMC: 2019年の利上げは何回？

注目は米連銀の”QT”(Quantitative Tightening)



	FRB FOMC	BOJ 金融政策決定会合	ECB 理事会
1月	1/29-30	1/22-23	1/24
2月			
3月	3/19-20	3/14-15	3/7
4月		4/24-25	4/10
5月	4/30-5/1		
6月	6/18-19	6/19-20	6/6
7月	7/30-31	7/29-30	7/25
8月			
9月	9/17-18	9/18-19	9/12
10月	10/29-30	10/30-31	10/24
11月			
12月	12/10-11	12/18-19	12/12



* 太字は展望レポートあり

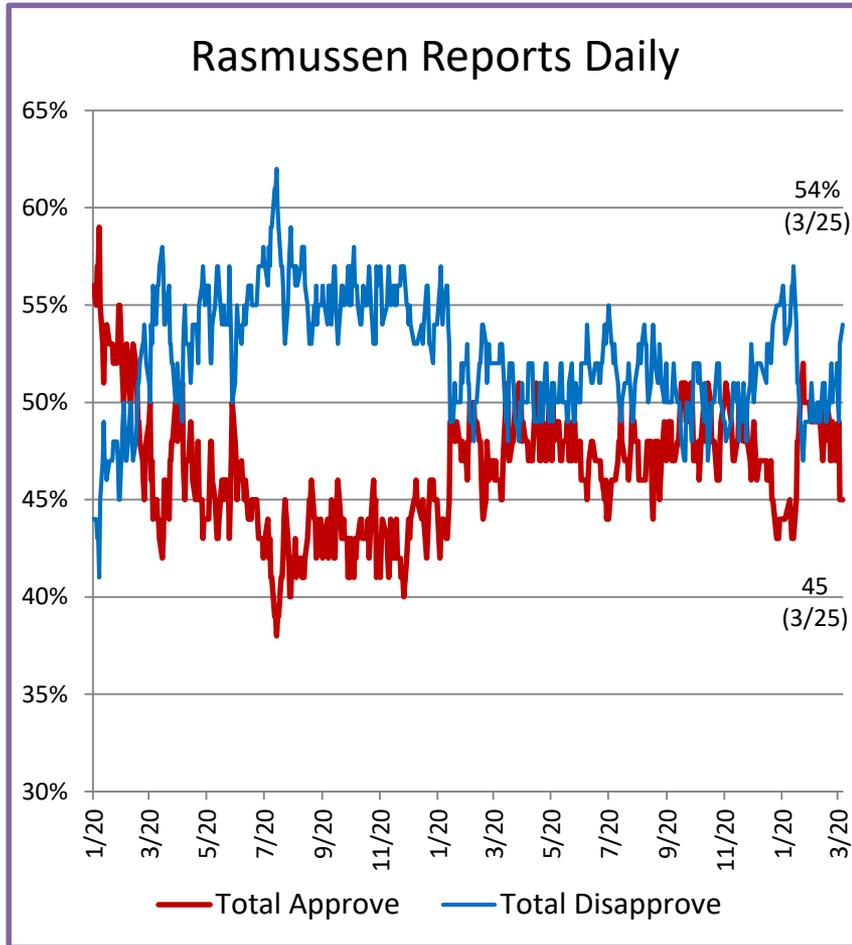
セントルイス連銀

<https://fred.stlouisfed.org/series/WALCL>



3年目「トランプ劇場」の試練

あの手この手で話題を提供

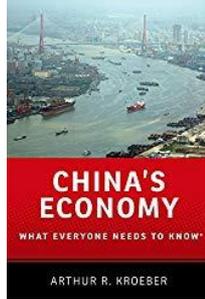


- TVプロデューサー感覚で次々に話題を提供
 - 2度の米朝首脳会談(シンガポール&ハノイ)は何を残したか？
- 敢えて対立の構図を作り、自らの支持層(ベース)を刺激
 - エリートやタテマエを叩く「プロレス流」政治術
- 第116議会で下院は民主党多数に('19/1/3～)
 - ペロシ下院議長は硬軟取り混ぜて対抗
- ロシア・ゲート＝モラー報告書は大統領の罪を認定せず
 - 民主党は議会の場で追及へ



米中は「新冷戦」へ

チャイナウォッチャー、Arthur R. Kroeber氏の分析



中国：習近平体制が目指しているもの

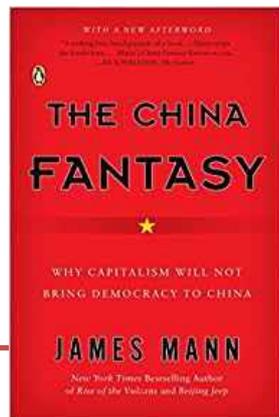
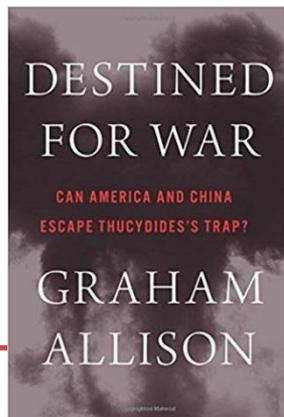
1. **Made in China 2025** (中国製造2025) → 先端分野で技術的な自立を促す
2. **Military-Civil Fusion** (軍民融合体) → 国有企業に民間資金を導入。中国の軍事力を米国に対抗できるようにする
3. **The Belt and Road** (一帯一路) → インフラ投資を拡大して周辺諸国への影響力を強める

アメリカ：「中国叩き」のプレイヤーたち

1. **Trump** = トランプ大統領、ナヴァロ顧問
 - 支持者向けに「タフ」なところを見せたい
2. **Defense Hawks** = ペンタゴン
 - 米国の軍事的、技術的優位を維持したい
3. **Trade Warriors** = ライトハイザー通商代表
 - 米中経済を「デカップル」したい
4. **Business** = ムニューシン財務長官、クドローNEC議長
 - 政権を良い方向に誘導したい

アメリカの対中観が変わった 「親中派」はどこへ行ったのか？

- 「トウキディデスの罠」(グレアム・アリソン教授)
 - 覇権国vs.新興勢力の衝突は歴史の必然？
- 「危険な幻想」(The China Fantasy)の剥落
 - 民主化しない中国。“Sharp Power”への警戒感も
- 技術覇権をめぐるテクノ冷戦(AI/ビッグデータ/5G)
 - ファーウェイ、ZTE製品を市場から占め出し



Mar.1st 2018



Dec.1st 2018

従来の米中関係を支えてきた仕組み 「ポートフォリオ」と「定期協議」

	協調 要因	中間的 要素	紛争 要因
安全 保障	安保理常 任理事国 核不拡散	北朝鮮問 題 台湾海峡	南シナ海 サイバー 攻撃
経済	国有企業 改革 米国債購 入	AIIB TPP	貿易摩擦 人民元自 由化
グ ロー バル	気候変動 対テロ対策	貧困の解 決	人権 信仰の自 由 チベット・ ウイグル

米中間の定期的な協議

第1期: **SD**: Senior Dialogue (2005～2008)

- ゼーリック国務副長官 & 戴秉国国務委員
- “Responsible Stakeholder”論

第2期: **SED**: Strategic Economic Dialogue (2006～2008)

- ポールソン財務長官 & 呉儀～王岐山副首相

第3期: **SAED**: Strategic and Economic Dialogue (2009～2012)

- 戦略: クリントン国務長官 & 戴秉国国務委員
- 経済: ガイトナー財務長官 & 王岐山副首相

第4期: **SAED** (2013～2016)

- 戦略: ケリー国務長官 & 楊潔ち国務委員
- 経済: ルー財務長官 & 汪洋副総理

政策課題は常に複数

→「アメリカ・ファースト」主義で単純化

当面の政治外交日程

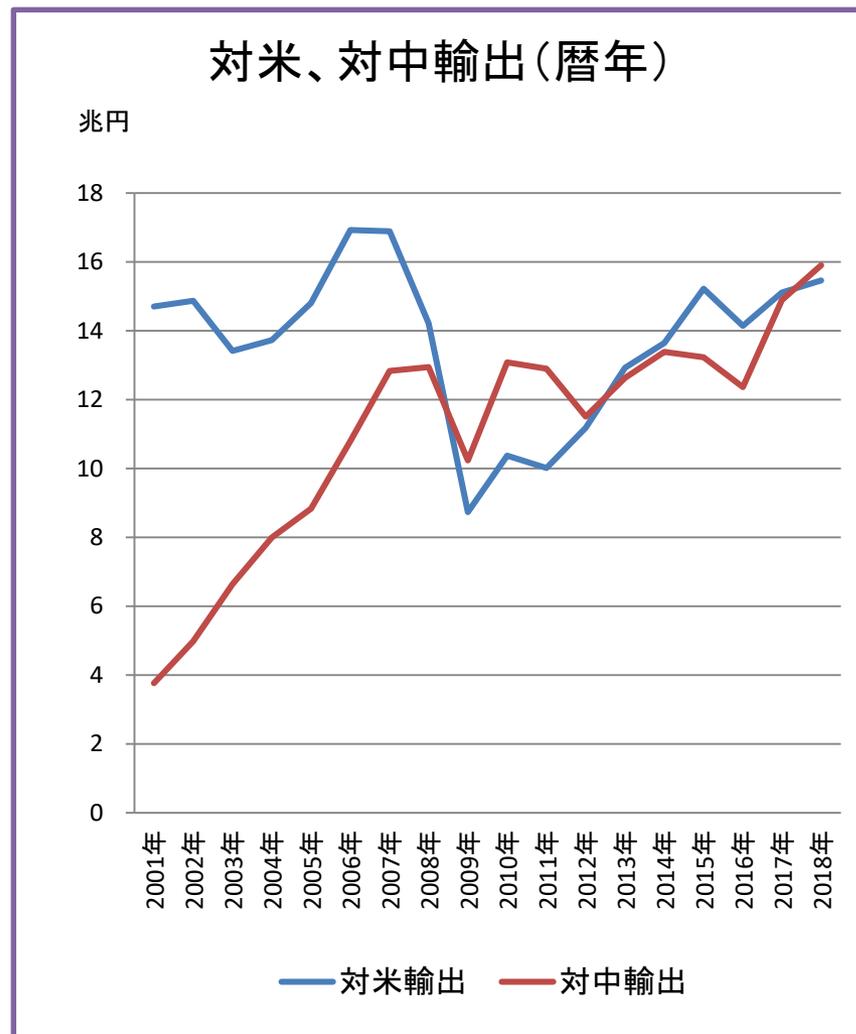
(◆国際会議、▼選挙)

- 米中閣僚級通商協議(北京、3/28-29)
- ▼ウクライナ大統領選(3/31)
- **新元号を公表**、働き方改革法・改正出入国管理法が施行(4/1)
- 米中閣僚級通商協議(ワシントン、4/3～)
- ▼統一地方選挙第1陣(4/7)
- ▼イスラエル総選挙(4/9)
- Brexitの新しい期限(4/12)
- **安倍首相が訪米**(4月中)
- ▼**インドネシア大統領**(4/17)
- ▼**インド総選挙**(4月～5月)
- ▼統一地方選挙第2陣、衆参統一補選(4/21)
- 改元10連休・プラチナウィーク始まる(4/27～5/6)
- 「退位の礼」(4/30) **改元**。「剣爾承継の儀」「即位後朝見の儀」(5/1)
- ▼**欧州議会選挙**(5/23-26)
- **トランプ大統領が国賓待遇で来日**(5/26-28)
- ◆G20財務相・中央銀行総裁会議(福岡、6/8-9)
- 通常国会会期末(6/26)→日口平和条約合意なら、衆院解散の可能性？
- ◆**G20首脳会合**(大阪、6/28-29)→**米中首脳会談**？

日中関係①: 深化する貿易構造

輸出入ともにハイテク化が進む

○日本から中国向け				
	2009年	2012年	2015年	2018年
輸出	10兆2356億円 ▲21.0%	11兆5091億円 ▲10.8%	13兆2,234億円 -1.2%	15兆8977億円 6.8%
1位	半導体等電子部品 8,472億円	半導体等電子部品 9,791億円	半導体等電子部品 9,939億円	半導体等電子部品 1兆0971億円
2位	鉄鋼 6,011億円	科学光学機器 6,700億円	科学光学機器 9,056億円	半導体等製造装置 1兆0797億円
3位	自動車の部分品 5,551億円	自動車の部分品 5,935億円	有機化合物 7,312億円	自動車の部分品 8,689億円
4位	有機化合物 5,502億円	有機化合物 5,929億円	プラスチック 7,216億円	科学光学機器 8,329億円
5位	プラスチック 5,233億円	プラスチック 5,803億円	自動車の部分品 6,413億円	プラスチック 8,329億円
6位	科学光学機器 3,964億円	鉄鋼 5,440億円	鉄鋼 5,521億円	有機化合物 7,821億円
○中国から日本向け				
	2009年	2012年	2015年	2018年
輸入	11兆4,360億円 ▲22.9%	15兆0,388億円 2.7%	19兆4,288億円 1.3%	19兆1936億円 4.0%
1位	衣類・同付属品 1兆9,545億円	衣類・同付属品 2兆0,670億円	衣類・同付属品 2兆2,866億円	通信機 2兆2,726億円
2位	電算機類 8,817億円	通信機 1兆4,585億円	通信機 2兆2,721億円	衣類・同付属品 1兆9,436億円
3位	音響映像機器 6,633億円	電算機類 1兆2,456億円	電算機類 1兆4,874億円	電算機類 1兆5,003億円
4位	通信機 5,176億円	音響映像機器 7,233億円	半導体等電子部品 6,878億円	音響映像機器 6,870億円
5位	織物用糸・繊維 3,949億円	金属製品 4,422億円	音響映像機器 6,753億円	金属製品 6,696億円
6位	金属製品 3,689億円	織物用糸・繊維 4,186億円	金属製品 6,663億円	織物用糸・繊維 5,147億円



日中関係②：地政学という今日的課題

「逆さ地図」が示す北東アジア

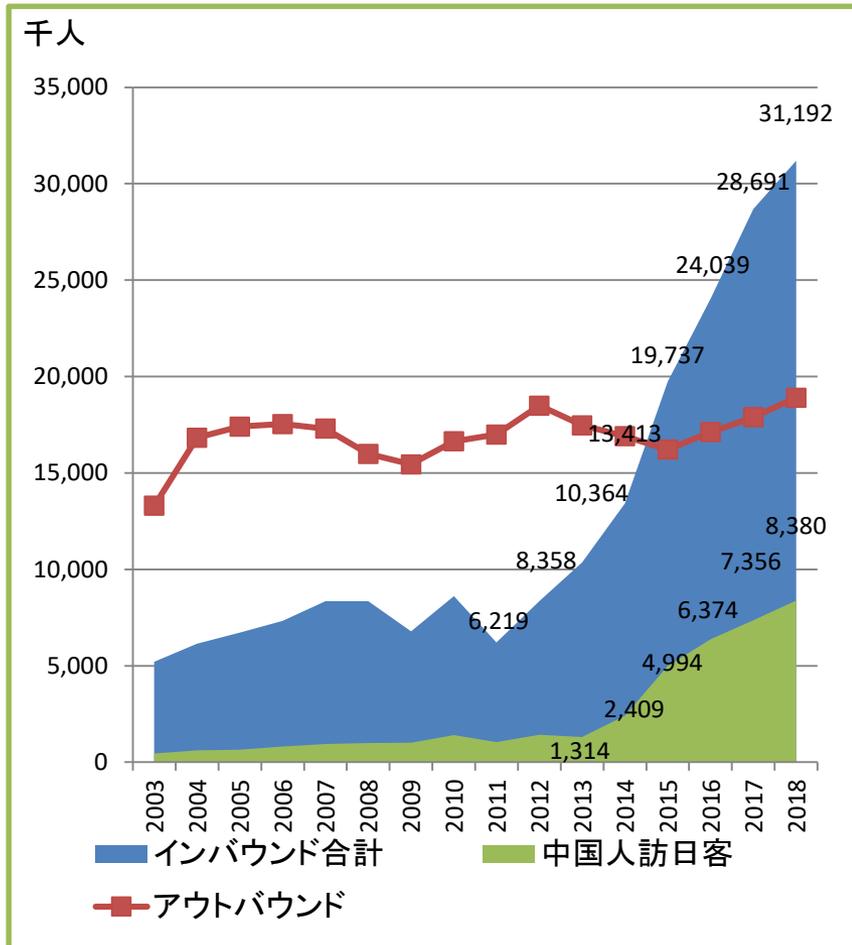
わが国を取り巻く
さまざまな「火種」

- * 領土問題
- * 東シナ海
- * 南シナ海
- * 歴史認識
- * 北朝鮮の核・ミサイル開発
- * 米軍基地の行方
- * 南北朝鮮統一？
- * 中国の軍拡
- * 台湾の地位

富山県



日中関係③: 訪日客数は右肩上がり 「グローバリズム」が支える日本経済



- ツーリズムは成長産業
 - 世界の1人当たりGDPは既に1万ドル超
 - スマホやLCC、高速鉄道、空港が旅行を変える
- 経済活動において「遊び」が重要になる時代
 - モノからサービス、コト消費
 - 東京五輪+大阪万博
 - 「IR実施法案」も成立
- 中国からの訪日客も急増
 - 逆にアウトバウンドは増えず
 - 外国人労働力も受入れ拡大

「ニッポン・ファースト」戦略を構想する

- 日本の位置づけ(19対13対5という第3位)
 - 「抜け目のないミドルパワー」を目指す
- 対米関係
 - 同盟関係が基軸。しかし通商摩擦もあり
 - 「トランプ後」への目配りも忘れずに
- 対中関係
 - 当面は改善も、「安保」と「歴史」は不変
 - 「戦略的互惠関係」が意味すること
- 「ソフトパワー」の有効性と限界
 - 「反撃しない日本外交」でいいのか？

次の焦点は台湾へ

2020年1月11日、台湾総統選挙に向けて

- 2018/12/31 米国で「**アジア再保証推進法**」(ARIA=Asia Reassurance Initiative Act.)が超党派で成立。トランプ大統領が署名。
 - インド太平洋地域への関与を再確認。日本など同盟国との関係を強化
 - 台湾への関与継続、武器売却、米政府高官の派遣などを求める。
 - 2019/1/2 習近平国家主席が北京大会堂で演説。台湾に「**一国二制度**」を求める
 - 鄧小平の「台湾同胞に告げる書」40周年を記念。「**武力行使を排除せず**」
 - 台湾の蔡英文総統は即日反論。来年の**総統選挙**にも影響か
 - 2019/3/27 蔡英文総統がハワイを訪問→ヘリテージ財団でパネルディスカッション
- ・・・今年**は**米中国交正常化 & 台湾関係法成立40周年
- 「ひとつの中国」原則というフィクションは維持可能なのか？

March 27, 2019

Taiwan-US: An Enduring Partnership in the Indo-Pacific

ワシントンDCと
ハワイを結ぶ
シンポジウム開催

A Special Policy Dialogue

**Wednesday, March 27,
2019**

3:00 pm - 4:00 pm
Live Streamed

[Add to Calendar +](#)

The Heritage Foundation

Allison Auditorium
214 Massachusetts Ave NE
Washington, DC 20002



A panel discussion with



Her
Excellency
Tsai Ing-wen

President, Republic of
China (Taiwan)



Edwin J.
Feulner Ph.D.

Founder
[@EdFeulner](#)



The
Honorable
Cory Gardner
(R-CO)



The
Honorable
Ted Yoho
(R-FL)